

dji OSMO POCKET 4

ユーザーマニュアル

v1.0 2026.04





本書は、DJI の著作物であり、すべての権利は DJI に帰属します。DJI から別途許可されていない限り、本書の複製、譲渡、販売を行ったり、本書または本書の一部を使用、または他の人に使用を許可したりすることはできません。ユーザーは、本書とその内容を DJI 製品の操作に関する指示を参照する目的にのみ使用してください。本書を他の目的で使用しないでください。言語版によって相違がある場合には、英語版が優先されます。

キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探すことができます。Adobe Acrobat Reader を使用して本書をお読みの場合、Windows では Ctrl+F、Mac では Command+F を押して検索を開始できます。

任意のトピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

本マニュアルの使用方法

凡例

△重要

💡ヒントとコツ

📖参考

ご使用前にお読みください

DJI™は、チュートリアルビデオと次のドキュメントをご用意しています。

1. 『安全ガイドライン』
2. 『クイックスタートガイド』
3. 『ユーザーマニュアル』

すべてのチュートリアルビデオの視聴をお勧めします。初回使用前に、『安全に関するガイドライン』をお読みください。初めて使用する前に、必ず『クイックスタートガイド』を確認し、詳細について『ユーザーマニュアル』を参照してください。

チュートリアルビデオ

以下のアドレスにアクセスするか QR コードをスキャンすると、チュートリアルビデオを視聴でき、製品の安全な使用方法を知ることができます：



<https://www.dji.com/osmo-pocket-4/video>

目次

本マニュアルの使用方法	3
凡例	3
ご使用前にお読みください	3
チュートリアルビデオ	3
1 製品の特徴	6
1.1 概要	7
1.2 ハンドル（1/4 インチねじ穴付き）	9
1.3 バッテリーハンドル	10
1.4 補助ライト	12
1.5 広角レンズ	13
1.6 Osmo ミニ三脚	14
2 準備	15
2.1 電源オン	15
2.2 アクティベーション	15
2.3 ファームウェアの更新	16
2.4 充電中	17
3 基本操作	18
3.1 ボタン機能	18
3.2 タッチ画面の操作	19
カメラビュー	19
上へスワイプ - パラメーター設定	20
左にスワイプ - 画像・音声設定	20
右にスワイプ - 再生	21
下にスワイプ - コントロールセンター	21
4 本製品の使用	25
4.1 撮影モードの設定	25
4.2 ジンバルモードの選択	25
4.3 アクティブトラック	26
4.4 スマートジンバルモード	27
4.5 ウェブカメラモード	28
4.6 映像の保存と転送	28
ストレージ空き容量	29
ファイル転送	29
モバイル端末へのファイル転送	29
ファイルをパソコンに転送	29
4.7 使用上の注意	30

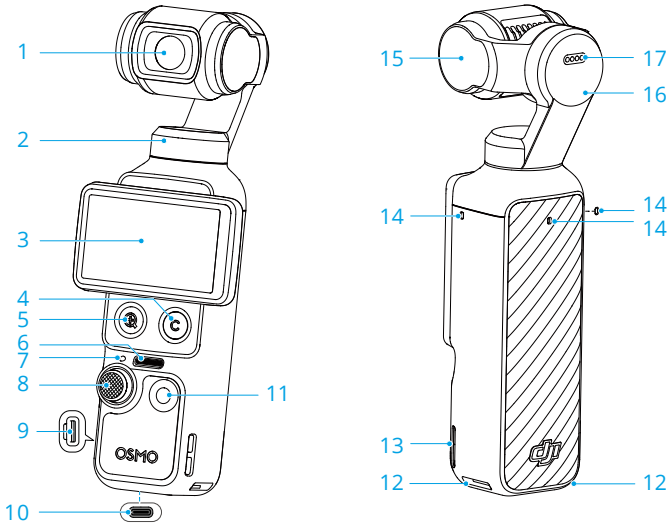
	バッテリー	31
5	仕様	32

1 製品の特徴

各コンボによって、同梱のアクセサリが異なります。アクセサリは別売りでご購入いただけます。互換性のあるアクセサリの完全なリストは[公式ストア](#)をご覧ください。

アクセサリ	スタンダード コンボ	クリエイター コンボ	エッセンシャル コンボ
Osmo Pocket 4 ジンバルクランプ (以下「ジンバルクランプ」といいます)	✓	✓	-
Osmo Pocket 4 ハンドル (1/4 インチ ねじ穴付き) (以下「ハンドル (1/4 インチねじ穴付き)」といいます)	✓	✓	✓
Osmo Pocket 4 補助ライト (以下「補助ライト」といいます)	-	✓	-
Osmo ミニ三脚	-	✓	-
Osmo Pocket 3 広角レンズ	-	✓	-
Osmo Pocket 4 バッテリーハンドル (以下「バッテリーハンドル」といいます)	-	-	-

1.1 概要



1. カメラ
2. パン軸モーター
3. 回転可能なタッチ画面
4. カスタムボタン
5. ズームボタン
6. スピーカー
7. ステータス LED

点滅パターン

緑色点灯

説明

撮影準備が整った状態

一時的にオフになり、緑色継続

写真を撮影中

赤色にゆっくり点滅

動画を撮影中


赤色に3回素早く点滅

バッテリー残量が少ないため、電源が現在オフ、またはすぐにオフになります

赤色と緑色に交互に点滅

ファームウェア更新中


8. 5D ジョイスティック
9. microSD カードスロット (カバー付き)

 microSD カードスロットカバーは防水ではありません。カバーを無理に引っ張らないでください。

- 10. USB-C ポート
 - 11. シャッター／録画ボタン
 - 12. クイックリリース用取り付け穴
 - 13. ストラップ取付口
 - 14. マイク
-

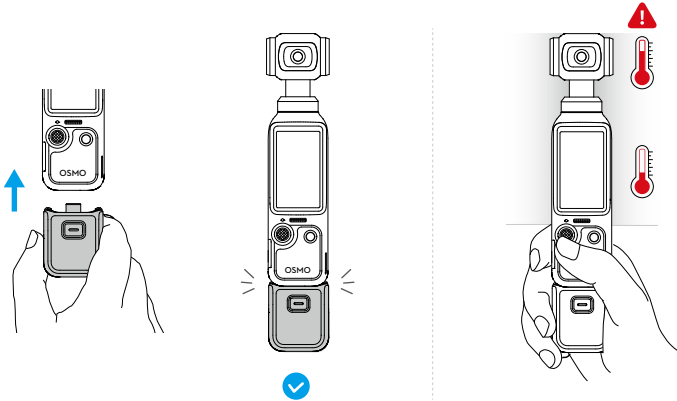
 より良い音質を得るために、動画の録画中はマイクを塞がないようにしてください。

- 15. チルト軸モーター
 - 16. ロール軸モーター
 - 17. 連絡先
-

 アクセサリーを取り付ける前に、端子部が清潔で、乾いていることを確認してください。

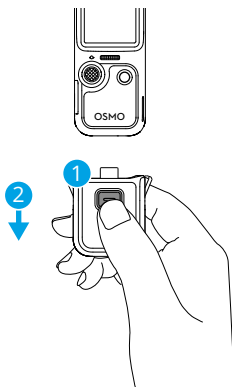
1.2 ハンドル（1/4 インチねじ穴付き）

ハンドル（1/4 インチねじ穴付き）をカメラに取り付けると、カメラをより快適にグリップできます。

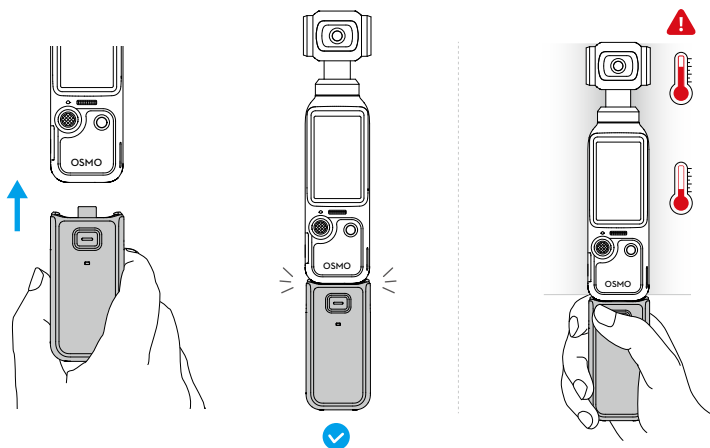


- ⚠️ 高画質の動画を長時間撮影すると、本製品の上部が熱くなることがあります。熱くなった部分避けるため、上部を持たないようにしてください。過熱が検出されると、カメラは撮影を停止します。
- ハンドルは防水ではありません。水の中に落とさないでください。ハンドルに液体をこぼさないようにしてください。

取り外す際には、ハンドルのリリースボタンを押し、そのままハンドルを引き抜きます。

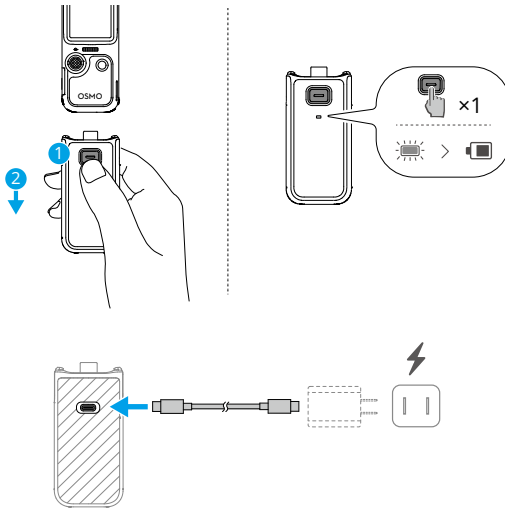


1.3 バッテリーハンドル



- ⚠️ 高画質の動画を長時間撮影すると、本製品の上部が熱くなることがあります。熱くなった部分避けるため、上部を持たないようにしてください。過熱が検出されると、カメラは撮影を停止します。
- バッテリーハンドルがカメラに装着されている場合、カメラのファームウェア更新中に、バッテリーハンドルのファームウェアも自動的に更新されます。更新が正常に完了すると、カメラにプロンプトが表示されます。アップデートが完了する前にバッテリーハンドルを取り外さないでください。
- 外部オーディオデバイスを併用する場合には、バッテリーハンドルの電力残量があることを確認してください。
- 火災の危険を防ぐため、バッテリーハンドルが適切に絶縁されていることを確認してください。バッテリーハンドルを落下させたり、叩いたりしないでください。
- USB-C ポートに異物が詰まっている場合には、エアブロー、柔らかいブラシなどのツールを使用して、USB-C ポートを清掃して、異物を取り除いてください。注：ポートの内側から外側に掃き出します。
- ハンドルは防水ではありません。水の中に落とさないでください。ハンドルに液体をこぼさないようにしてください。
- バッテリー寿命を延ばすため、バッテリーハンドルを 10 日間以上使用しない時には、残量 50%まで放電してください。

取り外す際には、バッテリーハンドルのリリースボタンを押し、そのままハンドルを引き抜きます。バッテリーハンドルを取り外した後、リリースボタンを1回押しと、ステータスLEDでバッテリー残量を確認できます。



⚠ 充電する前に、ポートが清潔で乾いていることを確認してください。ポートの汚れが目立つ場合は、きれいな乾いた布で清掃してください。

ステータス LED

バッテリー残量ステータス

赤色に3秒間点灯してから消灯	1%~19%
黄色に3秒間点灯してから消灯	20%~49%
緑色に3秒間点灯してから消灯	50%~100%
赤色に3回点滅	0%

充電中のバッテリー残量ステータス

緑色に4回点滅	75%超
緑色に3回点滅	51%~75%
緑色に2回点滅	26%~50%
緑色に点滅	0%~25%
オフ	充電完了

システムステータス

赤色と緑色に交互に点滅	ファームウェア更新中
-------------	------------

赤色に2回点滅

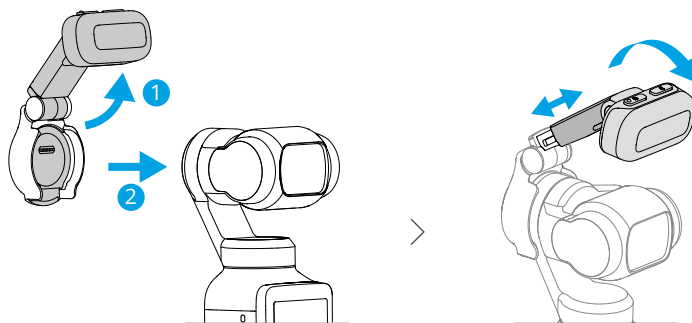
周囲温度が異常なため、現在はバッテリーハンドルを使用できません。温度が正常に戻るまでお待ちください。

黄色に点滅

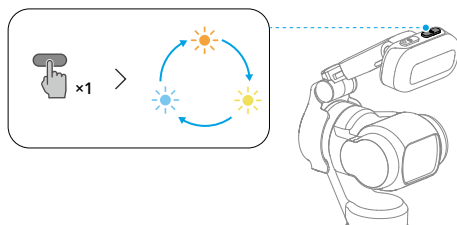
ファームウェアの更新に失敗しました（カメラに接続して、更新をやり直してください）。

1.4 補助ライト

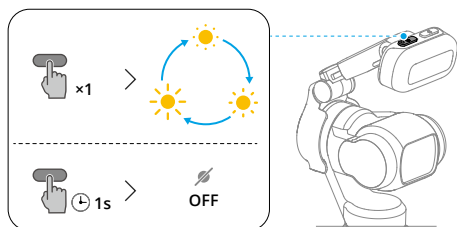
取り付けて、角度を調整します。



色温度の調整：

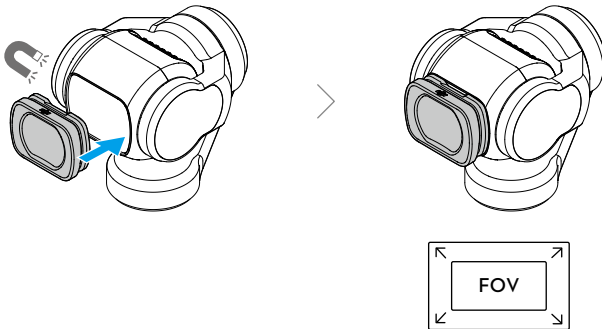


明るさを調整するか、補助ライトをオフにします。



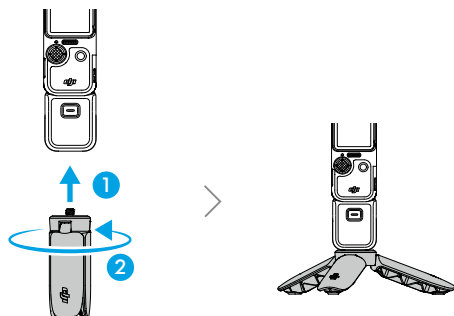
- 💡 • コントロールセンターに入り、**☑** をタップすると、補助ライトを素早くオン/オフにできます。**☑ > 補助ライト** をタップすると、セルフイーや低照度環境での自動点灯機能を有効にしたり、明るさと色温度を調整したりできます。
-
- ⚠️ • 本製品には磁石が含まれています。干渉を避けるため、本製品を磁気カード、ペースメーカーなどの埋め込み型医療機器、ハードディスク、RAM チップ、その他の機器に近づけないでください。
 - 補助ライトを取り付ける前に、汚れが目立つ場合は、乾いた布で端子部分をきれいに清掃してください。
 - 補助ライトを取り付ける際は、ジンバルに正しく位置合わせされ、しっかり固定されていることを確認してください。
 - 補助ライトが落下しないよう、過度に振ったり急な動きをしたりしないでください。
 - 補助ライトの取り付け時や使用時は、補助ライトとジンバルカメラが衝突しないようにしてください。
 - カメラを収納する前に、まず補助ライトを取り外してから、カメラの電源をオフにしてください。
-

1.5 広角レンズ



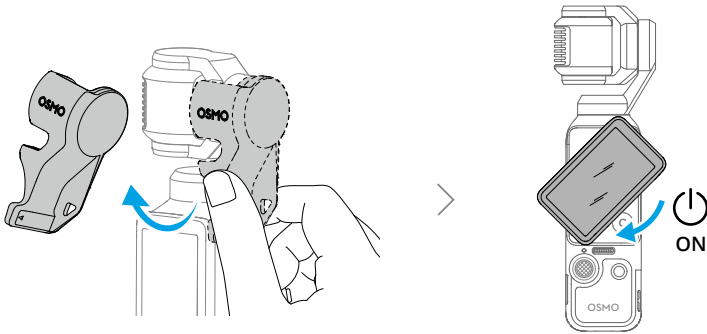
- ⚠️ • 広角レンズはパノラマ撮影には適していません。
 - カメラレンズと広角レンズの両面は、清潔に保ってください。ほこりや砂によりレンズに傷が付くと、広角レンズが落下することがあります。
 - カメラを収納する前に、まずレンズを取り外してから、カメラの電源をオフにしてください。
-

1.6 Osmo ミニ三脚



2 準備

2.1 電源オン



- 録画していないときは、シャッター／録画ボタンを長押しするか、タッチスクリーンを反時計回りに回転させて、電源をオフにします。回転後もカメラの電源をオンのままにするには、カメラビューで下方向にスワイプして、コントロールセンターを開き、●> スクリーンを回転して電源オフをタップすると、設定を変更できます。
- カメラには使用可能なストレージ（107 GB）があり、ストレージ拡張のために microSD カードをサポートしています。推奨 microSD カードについては仕様を参照してください。

2.2 アクティベーション


初めて使用する前に、DJI Mimo アプリを使用してカメラのアクティベーションを行ってください。

1. 画面の QR コードをスキャンして DJI Mimo アプリをダウンロードします。
2. モバイル端末で Wi-Fi と Bluetooth を有効にします。
3. モバイル端末で DJI Mimo アプリを起動して、カメラアイコンをタップしてカメラに接続し、手順に従ってカメラのアクティベーションを行います。

カメラが DJI Mimo アプリと併用されている場合、モバイル端末を使用して、現在のカメラビューをモニタリングしたり、カメラパラメーターを設定したり、カメラを制御したりできます。


- 📖 アプリがサポートする Android と iOS のオペレーティングシステムのバージョンを確認するには、<https://www.dji.com/downloads/djiapp/dji-mimo> をご覧ください。

- アプリのインターフェースおよび機能は、ソフトウェアのバージョンが更新されると変わる場合があります。実際のユーザー体験は、使用するソフトウェアのバージョンによって異なります。
-

-  **DJI Mimo** アプリへの接続時に問題が発生した場合には、次の手順に従ってください。
1. モバイル端末で Wi-Fi と Bluetooth の両方が有効になっていることを確認してください。
 2. **DJI Mimo** アプリが最新ファームウェアバージョンであることを確認してください。
 3. ライブビューでは、画面の上部からスワイプダウンして **○ > 無線接続 > 接続をリセット** をタップします。カメラのすべての接続と Wi-Fi パスワードがリセットされます。
-

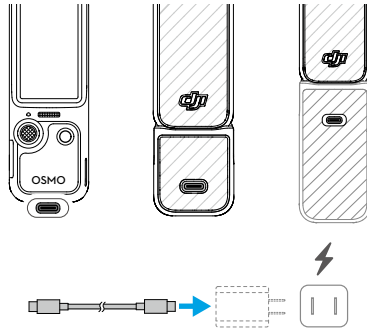
2.3 ファームウェアの更新


新しいファームウェアが利用可能になると、**DJI Mimo** アプリにプロンプトが表示されます。プロンプトをタップし、画面上の指示に従って、ファームウェアを更新してください。


-  更新できない場合、次の手順に従って問題を解決してください。
1. カメラと **DJI Mimo** アプリを再起動します。
 2. モバイル端末で Wi-Fi と Bluetooth を有効にします。
 3. カメラと **DJI Mimo** アプリを接続し、再度アップデートを試行します。
- 更新に失敗したら、**DJI サポート**にご連絡ください。
-

2.4 充電中

付属のケーブルを使用して、USB-C ポートを充電器に接続します。USB-C PD 充電器を使用することをお勧めします。



 バッテリーハンドルを取り付けている場合、ハンドヘルドジンバルカメラのバッテリーが完全に充電されるまで、バッテリーハンドルの充電は開始されません。

 充電する前に、ポートが清潔で乾いていることを確認してください。ポートの汚れが目立つ場合は、きれいな乾いた布で清掃してください。

3 基本操作


3.1 ボタン機能

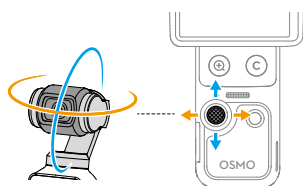
5D ジョイスティック

左右に倒す：パン軸のカメラの動きを操作します。

上下に倒す：カメラのチルトまたはズームを操作します。

*

* ジョイスティックを動かす量に応じて、ジンバルの回転速度とカメラのズーム速度が制御されます。ジョイスティックが中央から離れるほど、ジンバルカメラの回転速度およびズーム速度が速くなります。この機能を無効にするには、カメラビューの上端から下方向にスワイプし、をタップして、**入力ロック**を有効にします。この設定を使用すると、安定してズーム制御できます。



1 回押す：前のメニューに戻るか、アクティブトラックを終了します。

2 回押す：ジンバルを再センタリングします。

3 回押す：カメラの向きを前方/後方に切り替えます。

長押し：ジンバルをロックします。



シャッター/録画ボタン

カメラビューで 1 回押す：写真撮影、または動画撮影の開始/停止。

電源オフ時に 1 回押す：電源をオンにします。

長押し：電源オフ。

ズームボタン

1 回押す：2 倍ズームに切り替えます。

2 回押す：4 倍ズームに切り替えます。*

* 一部の撮影モードでのみ対応しています。

任意のズーム倍率で 1 回押すと、1 倍ズームに切り替わります。



カスタムボタン

長押し：ボタン機能をカスタマイズします。

デフォルト：

1 回押す：ジンバルのチルトまたはカメラのズームのジョイスティック操作を切り替えます。

2 回押す：ジンバルを再センタリングします。

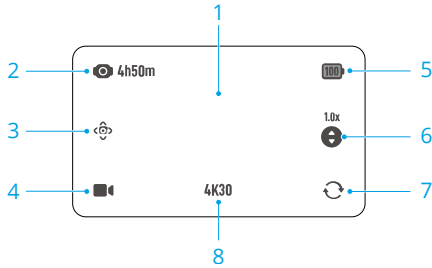
3 回押す：ジンバルをロック/ロック解除します。



3.2 タッチ画面の操作

カメラビュー

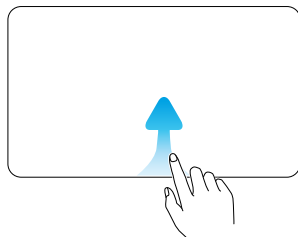
カメラの電源が入ると、タッチ画面にライブビューが表示されます。



1. カメラビューをシングルタップすると、フォーカスと露出測光を行うことができます。ダブルタップすると、**アクティブトラック**被写体を選択できます。
2. ストレージ容量／残り録画時間
3. **スマートジンバルモード**
4. **撮影モードの設定**
5. **バッテリー残量**
バッテリーハンドルを取り付けている場合は、アイコンをタップすると、カメラとバッテリーハンドル両方のバッテリー残量が表示されます。
6. **ジョイスティック操作の切り替え**
タップすると、ジンバルのチルトまたはカメラズームのジョイスティック操作を切り替えることができます。
7. **ジンバル回転**
タップするとカメラの向きを前方／後方に切り替えます。
8. **撮影仕様**

上へスワイプ - パラメーター設定

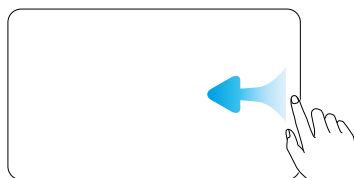
画面下側から上へスワイプすると、各撮影モードのパラメーターを設定できます。パラメータを設定したら、画面上部から下にスワイプしてライブビューに戻ります。



-
- 💡 • 撮影モードにより、設定可能なパラメーターは異なります。実際のインターフェースを参照してください。
-

左にスワイプ - 画像・音声設定

カメラビューで左にスワイプすると、画像と音声の設定を調整できます。**PRO** をタップすると、アイコンが黄色くなり、プロ向けのパラメーターを調整できるようになります。

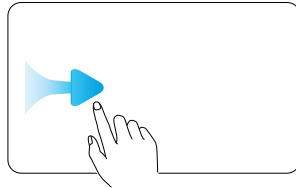


-
- 📖 **D-Log 10bit** は、後編集時にプロ仕様のカラーグレーディングに対応できるように設計されています。ハイコントラストまたはマルチカラー（ガーデン、フィールドなど）のシナリオでは、ダイナミックレンジを拡大して、撮影後のカラー調整の幅を広げることができます。**D-Log 10 bit** カラーモードを選択した場合、カラーリカバリーを有効にして、カメラビューでカラーレンダリングをプレビューできます。
-

- 💡 フォーカスモード、**Beautify**（ビューティファイ）、アプリ美颜効果、フィルムトーンなどの設定にも対応しています。クリックすると、**チュートリアルビデオ**を視聴できます。フィルムトーンと **Beautify**（ビューティファイ）は動画モードでのみ使用でき、同時に使用できません。
-

右にスワイプ - 再生

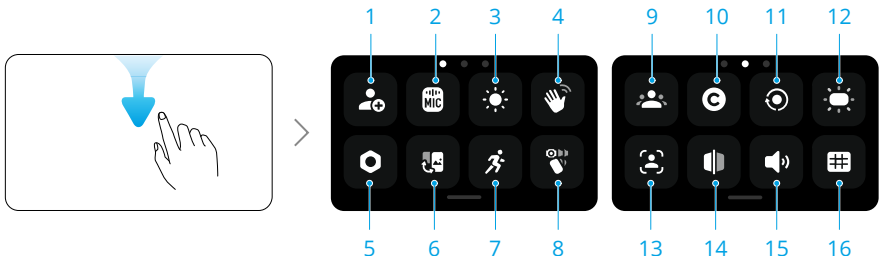
画面から右にスワイプすると、前回撮影した映像が表示されます。



動画を再生中に、画面上の空白部分を長押しすると2倍速で再生されます。再生中に、画面の右端から左にスワイプしてライブビューに戻ります。

下にスワイプ - コントロールセンター

画面上部から下にスワイプすると、コントロールセンターに入ります。画面の下部から上にスワイプすると、ライブビューに戻ります。



1. カスタムモード


現在の撮影設定をカスタムモードとして保存します。カスタムモードは、同じようなシーンを撮影するときに、直接使うことができます。

2. ワイヤレスマイク

カメラは2台のDJI ワイヤレスマイクトランスミッターに同時に接続できます。公式ウェブサイトアクセスして、サポートされているモデルを確認してください。

画面に表示される指示に従って、リンクしてください。リンクが完了すると、トランスミッターを使用してカメラを制御し、録画を開始し、音声をトランスミッターでキャプチャできるようになります。

- ☞ 詳細については、DJI のウェブサイトや、マイク製品のユーザーマニュアルを参照してください。



- トランスミッターがカメラにリンクされている場合、ワイヤレスマイク設定をタップして、トランスミッターの音声パラメーターを調整できます。
 - コントロールセンターに入り、をタップすると、**音声バックアップ**を有効にできます。有効にすると、無線マイクで動画を録画している間、カメラの内蔵マイクも同時に音声を録音します。このバックアップ音声は、個別の.aac ファイルとして保存することも、動画ファイルに追加音声トラックとして埋め込むこともできます。音声バックアップは、タイムラプス、ウェブカメラ、および DisplayPort 伝送モードでは使用できません。
-


3. 明るさ

タップしてスライドさせると、明るさを調整できます。屋外で使用する際は、自動輝度調整機能を有効にすることもできます。

4. ジェスチャー操作

有効にすると、カメラのほうを向き、対応するジェスチャーを行うことにより、写真撮影、動画録画、またはアクティブトラックを操作できます。

- 手のひら ：アクティブトラックを有効/無効にします。
 - V ジェスチャー ：写真撮影、または動画録画を開始/停止します。
-

-  • 最適なジェスチャー操作を行うため、カメラから 2 m 以内でジェスチャーを行ってそれを維持します。頭部が隠れないようにしてください。ジェスチャーが有効になると、画面上にプロンプトが表示されます。
 - **登録された被写体のみ**を有効にすると、登録された被写体のみがジェスチャー操作でカメラを制御できます。
-

5. 設定

ジンバルキャリブレーション、自動電源オフなど、その他の設定にも対応しています。主な機能は以下の通りです。

起動時のジンバル方向	電源がオンになった時のカメラの向きを設定します。 前回の設定：ジンバルモードが [フォロー] または [チルトロック] に設定されている場合、カメラは前方が後方を向きます。ジンバルモードが [FPV] の場合、カメラが回転して、前回電源をオフにした時と同じ向きに戻ります。
-------------------	---

ウェアラブルモード	有効にすると、セルフィーモードではカメラが回転してロックされ、ジンバルモードでは [チルトロック] に変わります。画面を 2 回タップすると、ジンバルが再センタリングされます。上にスワイプすると、ウェアラブルモードが終了します。ウェアラブルモードでは、カメラは拡張アダプター（別売り）と一緒に使用することを推奨します。
------------------	---

ちらつき防止 タップすると、ちらつき防止の周波数を選択でき、屋内での撮影時に蛍光灯やテレビ画面のちらつきを低減できます。地域内の電力グリッド周波数に応じて、ちらつき防止周波数を選択します。デフォルトのちらつき防止周波数は「自動」に設定されています。

タイムコード タイムコードをリセットするか、システム時間と同期します。カメラのタイムコードは、USB-C ポートを使用したタイムコードシンクロナイザーでも同期できます。
タイムコード表示をタップすると、ライブビューでタイムコードを表示できます。

6. 「横向き撮影」と「縦向き撮影」モードの切り替え

タップすると、以下の撮影方向のいずれかを選択できます。「自動回転」、「横向き撮影」、「縦向き撮影」。

7. 回転速度

タップすると、ジンバルのフォロー速度を調整できます。

8. ジンバルモードの選択

9. 被写体を登録

被写体を登録して管理します。登録された被写体は、オートフォーカス、ジェスチャー操作、スポットライトフォローで優先させることができます。

10. カスタムボタン

ボタン機能をカスタマイズします。

11. 画面回転&キャプチャー

この機能を有効にすると、タッチ画面を時計回りに回してカメラの電源がオンになるとすぐに、映像の撮影が開始されます。「前回の設定」がデフォルトで使用されます。

- ☀️ • 撮影後、カメラを 2 秒間放置すると自動的に電源が切れます。
- 録画中に画面を再度回転させるとき：
 - 撮影方向が「自動回転」または「横向き撮影」に設定されている場合、録画が停止し、カメラの電源は 2 秒後に切れます。
 - 撮影方向が「縦向き撮影」に設定されている場合、撮影は続行されます。

12. 補助ライト切り替え

13. FT（セルフイー）

ジンバルがセルフイーモードのとき、カメラはフレーム内で最大の領域を占める被写体を自動追跡します。ジンバルの向きが反転すると、追跡は停止します。

14. セルフイー用画面反転

有効にすると、セルフイーモードで撮影した映像が、プレビューと一致するように自動で反転します。

15. 音

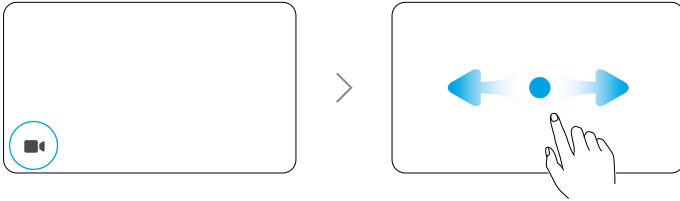
タップして音量を設定します。

16. 参考ライン

カメラビューに参考ラインを表示して、構図をサポートします。

4 本製品の使用

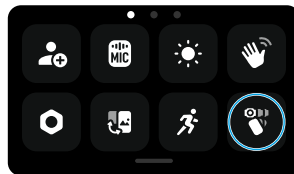
4.1 撮影モードの設定



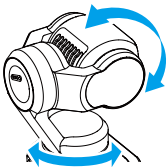
1. アイコンをタップしてモード切り替えページに入ります。
2. スワイプして撮影モードを選択します。
3. 選択した撮影モードをタップするか、画面の下から上にスワイプしてライブビューに戻ります。

4.2 ジンバルモードの選択

画面上部から下にスワイプすると、コントロールセンターに入ります。アイコンをタップして、ジンバルモードを選択します。クリックすると、[チュートリアルビデオ](#)を視聴できます。



フォロー



パン軸とチルト軸はハンドルに追従し、ロール軸は水平を保ちます。フォローモードはデフォルトで選択されています。Vlog やセルフィーなど、ほとんどのシーンに適しています。

チルトロック



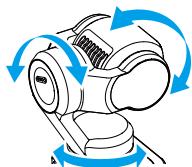
このモードでは、パン軸のみが追従し、チルト軸はロックされ、ロール軸は水平を保ちます。

このモードは、プッシュイン/プルアウトや横方向の動きを撮影するのに適しています。

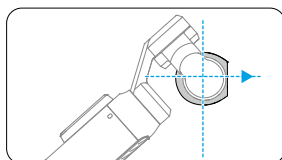
カメラは自由に回転し、ハンドルの動きに追従します。

このモードは、クリエイティブ撮影や没入感のある一人称視点の映像を撮影するのに適しています。

FPV / FPV ⊥

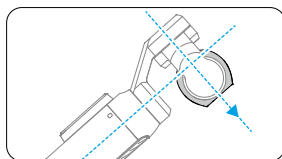


FPV



電源オンまたは再センタリング時、カメラは水平方向で前方を向いた状態を維持します。

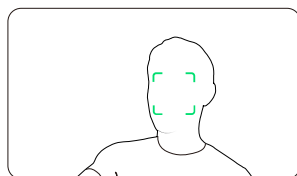
FPV ⊥



電源オンまたは再センタリング時、カメラはハンドルに対して垂直な状態を維持します。

4.3 アクティブトラック

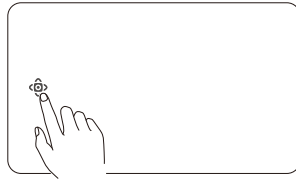
[写真] モードまたは、[動画] モードでタッチ画面を 2 回タップすると、被写体を選択して [アクティブトラック] を有効にできます。すると、ジンバルカメラは選択した被写体に自動的に追従します。5D ジョイスティックを押すか、タッチ画面をタップすると、アクティブトラックを終了できます。



⚠ アクティブトラックは、パノラマ、タイムラプス、モーションラプス、スピンショット、カメラを水平に保持した FPV モード使用時には利用できません。

4.4 スマートジンバルモード

[動画] モードでは、アイコンをタップすると、スマートジンバルモードを選択でき、再度タップすると終了します。



スポットライトフォロー

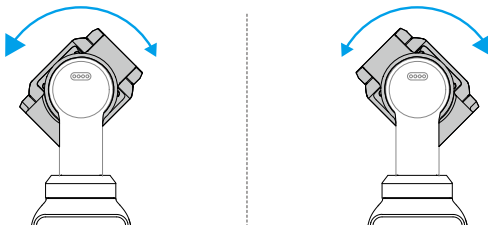
録画開始後、カメラは登録された被写体を優先的に追従します。被写体が登録されていない場合、カメラはフレームの中心に最も近い被写体を自動的に追従します。

ダイナミック フレーミング

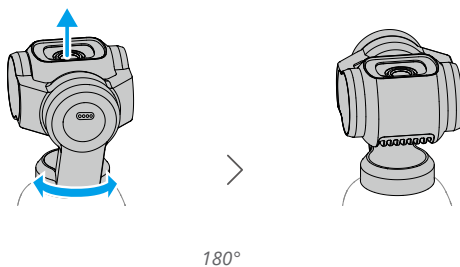
黄金比または三分割法に基づいて、5D ジョイスティックからライブビューで被写体の位置を選択します。被写体が構図に入った後、ジョイスティックを押して、被写体を選択した位置に保持しながら追跡します。

スピンショット

ジョイスティックを 1 回押すか、画面上的アイコンをタップすると、スピンショットモードを開始できます。カメラが 90°または 180°回転して映像を撮影し、独特のシネマティックな効果を生み出します。



90°



4.5 ウェブカメラモード

本製品は、パソコンのウェブカメラとして使用することができます。本製品の電源をオンにし、**USB-C** ケーブルでパソコンに接続します。カメラの **Web カメラ** をタップしてウェブカメラモードに入ると、カメラがウェブカメラ入力デバイスとして機能します。画面の下部には、[ウェブカメラ] と表示されます。

シャッター/録画ボタンを押すと、録画を開始します。ユーザーは、ウェブカメラモードを終了した後、録画した動画をプレビューできます。

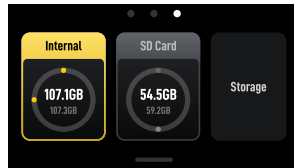
-
- ⚠ 使用中は、機器の温度が十分に下がっていることを確認してください。撮影が完了したら、速やかに機器の接続を切断してください。
-

4.6 映像の保存と転送

-
- ⚠
- 安全な接続を確保するため、付属のデータケーブルを使用することを推奨します。サードパーティ製ケーブルを使用する場合は、安全で信頼性の高いものを選び、機器の性能と安全性を確保してください。
 - 使用中は、microSD カードスロットと microSD カードが清潔で異物がいないことを確認してください。
 - 録画中は、microSD カードを抜き差ししないでください。抜き差しすると、microSD カードが損傷し、データが失われる可能性があります。
 - 大切な写真や動画を撮影する前に、いくつかの画像を試し撮りし、カメラが正しく動作しているかどうか確認してください。
 - 内蔵ストレージまたは microSD カードに保存されている重要なデータについては、必ずバックアップを行ってください。データが破損または消失した場合、復元することはできません。内蔵ストレージのデータ消失によって生じた損害については、ユーザーが責任を負うものとします。
-

ストレージ空き容量

画面上部から下にスワイプし、それから左にスワイプすると、ストレージ情報を確認できます。



カメラには内蔵ストレージがあり、microSD カードを挿入することでストレージを拡張することもできます。

内蔵ストレージまたは microSD カードをフォーマットするには**ストレージ**をタップします。

⚠ フォーマットを行うと、すべてのデータが永久に消去されます。フォーマットする前に、必要なデータをすべて、必ずバックアップしてください。

ファイル転送

- 💡 ケーブルでファイルを転送する際、カメラが接続されたデバイスを自動的に認識できない場合は、コントロールセンターに入り、**🔌 > USB モード**をタップして、カメラを再接続してください。

モバイル端末へのファイル転送

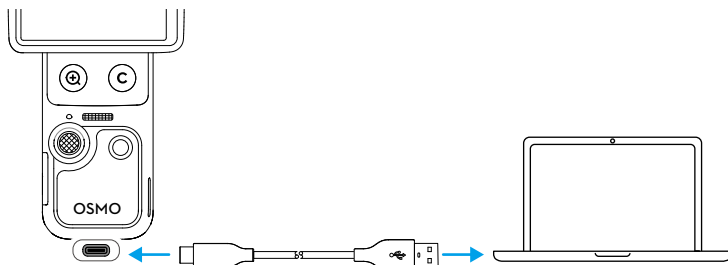
- カメラを DJI Mimo アプリに接続し、アルバムアイコンをタップして、写真と動画をプレビューします。📁をクリックして、写真と動画をダウンロードします。
- ケーブルで写真や動画を転送することもできます。付属のケーブルを使用してモバイルデバイスを接続してください。接続すると、端末のアルバムやファイル管理場所から、写真や動画の閲覧や転送が可能になります。

写真や動画は、DJI Mimo アプリから SNS プラットフォームに直接共有できます。

ファイルをパソコンに転送

カメラの電源を入れ、USB-C ケーブルでパソコンに接続します。パソコンに接続すると、ポップアップが表示されます。ファイル転送 : USB をタップすると、カメラからパソコンにファイ

ルをダウンロードできます。ファイルの転送中は、カメラで写真を撮影したり、動画を録画したりできません。



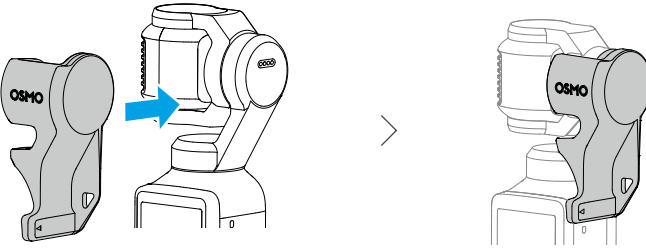
💡 ファイル転送が中断された場合には、デバイスをパソコンに再接続してください。

⚠ ファイル転送が完了した後、すぐに機器の接続を切断しないでください。データ損失を防ぐためです。安全に取り外せるというプロンプトがお使いのパソコンに表示されるまでは、切断しないでください。

4.7 使用上の注意

1. 衝撃を与えると、デバイス内部の複雑な構成部品が破損し、ジンバルの故障の原因になることがあります。注意して扱ってください。本製品は、砂やほこりが付かないように保護してください。
2. デバイスの電源をオンにする際には、ジンバルの作動を邪魔するものがないか確認してください。
3. 軸ロックの誤作動を避けるため、軸ロックを頻繁に手作業で調整しないでください。
4. 本製品は防水仕様ではありません。本製品に液体をこぼしたり、液体洗剤を使用したりしないでください。本製品のお手入れには、乾いた柔らかい布のみを使用してください。
5. 使用中に熱くなることがあるので、本製品の通気エリアを覆ったり、通気エリアに触れたりしないでください。過熱すると、カメラは撮影を停止します。
6. 高振幅の振動がある環境（オートバイや自転車のハンドバーに取り付けるなど）では、本製品を使用しないでください。これを守らないと、ジンバルが破損する恐れがあります。
7. 画面フレームと本体間のわずかな摩擦は通常の現象であり、画面を回転させて使用する際に影響はありません。
8. カメラセンサーの損傷を避けるため、レーザーショーなどのレーザー光線のある環境にカメラレンズをさらさないでください。

9. 電源投入中にカメラを揺らすと、起動に失敗する場合があります。電源投入中は、カメラを静止させたままにしてください。
10. カメラの電源を切った後、ジンバルクランプを装着して、意図しない動きによる損傷を防いでください。ジンバルクランプにはストラップ用のストラップ穴があり、クランプの紛失防止に役立ちます。ジンバルクランプのストラップ穴を使用してカメラを吊り下げたり支えたりしないでください。クランプが緩み、カメラが落下するおそれがあります。



バッテリー

1. 正規品以外のバッテリーを使用しないでください。公式以外のバッテリーを使用したことに起因する損害に対して、DJI は一切責任を負いません。
2. <https://www.dji.com/osmo-pocket-4/specs> で指定された温度範囲内でバッテリーを使用してください。高温環境でバッテリーを使用すると発火や爆発につながるおそれがあります。低温環境でバッテリーを使用する前に、室温環境でバッテリーを完全に充電することをお勧めします。理想的な温度でバッテリーを充電すると、バッテリーの寿命を延ばすことができます。
3. バッテリーを良好な状態に保つために、3 カ月に 1 回はバッテリーを完全に放電したあと完全に充電するようにしてください。
4. バッテリーは、完全に充電されると充電を停止するよう設計されています。充電の進捗状況を監視し、バッテリーがフル充電されたら充電器の接続を取り外すことをお勧めします。
5. バッテリー電圧が低すぎると、バッテリーは低電力状態になります。低電力モードを終了するには、バッテリーを充電してください。
6. バッテリーを完全に放電した状態で長期間保管しないでください。バッテリーが過放電し、バッテリーセルに修理不能な損傷が生じる恐れがあります。
7. バッテリーを 10 日以上使用しない場合は、40~65%まで放電してください。これにより、バッテリーの寿命を大幅に延長できます。

5 仕様

仕様については、以下のウェブサイトを参照してください。

<https://www.dji.com/osmo-pocket-4/specs>



連絡先

DJI サポート

本内容は予告なく変更される場合があります。
最新版は下記よりダウンロードしてください



<https://www.dji.com/osmo-pocket-4/downloads>

本書についてご質問がある場合は、DJI（DocSupport@dji.com宛にメッセージを送信）までお問い合わせください。

DJI と OSMO は、DJI の商標です。

Copyright © 2026 DJI All Rights Reserved.